

## 2022 年度事業計画書

(2022 年 4 月 1 日~23 年 3 月 31 日)

### 【基本方針】

同盟育成会事業の二本柱の一つである学生寮事業では、新型コロナウイルスの感染拡大の影響からか応募者が伸び悩んでいる。このため応募者増加を目指して、高等学校への働きかけを強化する。学寮では引き続き徹底した感染予防対策を講じていく。もう一つの奨学金事業では、給付奨学生の募集枠を前年度に続き、学部生、大学院生各 20 人とし、給付奨学生全体で 80 人規模（21 年度末実績は 83 人＝留学による休学中の者を含む）を目標に設定する。

### 【収支見通し】

収支見通しは、収入面では電通株の配当金が 21 年度に大幅に増加。22 年度の配当見通しも、通年で 1 株 130 円と 21 年度（117 円 50 銭）を大きく上回る。債券運用や 21 年に開始した上場投資信託（ETF）の運用も順調だ。この結果、全体としても大幅な増収が見込まれるため、収支相償の観点から、財団としては学寮設備の更新、奨学生研修事業の充実を進めていく考えだ。

### 【管理部門】

資産運用＝予算では収入合計を 3 億 0,323 万円（21 年度予算は 2 億 1,345 万円）と見込んだ。電通株の配当増加を反映した結果だ。収支相償の基本を守るため、必要と思われる事業には相当額の出費を行う必要があるが、財務体質の健全性の維持には引き続き留意する。

### 【組織運営】

新型コロナ感染予防の観点から、22 年度も職員の在宅勤務を活用していく。

### 【学生寮事業】

- (1) 22 年度の寮運営＝白山寮、市谷寮の定員はそれぞれ 54 人、62 人。応募者の低迷で空室が出た場合も、引き続き新型コロナウイルス対応できるように活用する。
- (2) 23 年度の新規入寮者募集＝23 年度の入寮者募集は、オンライン面接を中心に実施する。募集人員に満たない場合は、追加応募を認める予定。
- (3) 教育補助事業＝毎年財団主催で開いていた新入寮生対面式（4 月）、創立記念行事（10 月）、成人式（1 月）や、寮生が自主的に実施する予定の新人歓迎会（4 月）、

夏季キャンプ（8月）、クリスマスパーティー（12月）、卒寮生送別会（2月）などのイベントについては、新型コロナの感染状況をみながら、慎重に実施する。

- (4) 保健・衛生＝22年度も引き続き新型コロナ対策を進めるほか、財団の負担で、寮生希望者にインフルエンザの予防接種を受けさせるなど、寮生の健康維持に努める。

#### 【奨学金事業】

- (1) 新規採用目標＝大学院生、学部生とも給付奨学金の新規採用者数は、前年度と同じ20人とする。これにより、大学院生の奨学生は合計で21年度末の38人から41人に、学部生は45人から41人となる。給付額は大学院生月額6万円、学部生同4万円は維持する。
- (2) 給付奨学生研修会＝大学院生と学部生の研修会は年2回、秋（9月）と春（2月）に実施する。秋はオンライン形式とするが、大学院生と学部生を分けて開催することを検討している。

#### 【収益事業】

唯一の収益事業である旧渋谷寮跡地の日本パーキング株式会社への賃貸は安定的に推移しており、継続する。

以上